

「経営継承と6次化への取り組み」

1 ビジネススクール受講の動機

平成24年(3年前)に就農して以来、畜産をはじめ米麦、アスパラガスなどの生産技術を習得してきました。今後、経営の主軸として農業経営を継承していく上で、必要となる知識やノウハウを修得するため、受講しました。

また、地元の特産品が少ないことを以前より憂慮しており、農業を通じてその開発に取り組む事が出来ないだろうかと考えていた事もあり、6次化への取り組みに関して学びたいと思っていたのもきっかけの1つです。



2 スクール受講中と修了後の経営改善

- 6次化への取り組みとしては、①農畜産物の加工販売 ②農畜産物を使った飲食事業、この2つを実践するため、平成26年8月に「株式会社つちのか」を設立。「とちまる6次産業化成長応援ファンド」を活用した栃木県第1号案件として、地元の(株)大麦工房ロアとの共同出資により実現しました。
- 農畜産物加工品の開発は、「足利マール牛ゴロゴロカレー」や「ローストビーフ」「アスパラガススープ」など、より地元の農畜産物に親しみを持ってもらえるメニューを念頭に置きながら販路開拓も併せて進めています。
- また、飲食事業では平成27年3月に『Farmer's Café TSUCHINOCA』をオープンし、長谷川農場で育てられた足利マール牛を中心とした飲食事業の展開を進めています。ここを「アンテナショップ」として「長谷川農場」の認知や足利産農畜産物の認知拡大を行っていきたいと思います。
- 今後は、「つちのか」の事業を通して地元特産品の開発を進めると共に、「つちのか」事業の更なる発展と経営継承のバランスを保ちつつ、産業として成り立つ農業経営を実践していきたいと考えています。とにかく、農業を通じて地域が活性化する方法を模索していきます。
- 経営継承に関しては、現在法人化を視野に入れて今後3～5年計画で考えています。畜産経営の場合、相続等も含めて複雑な点が多く、慎重に進めています。経営継承に関しては今後の課題がまだあるため、引き続き慎重に進めていきたいと考えています。

3 ビジネススクールを受けたメリット

経営継承をはじめ6次化への様々な事例を知れたことは、自分への刺激にもなり、今回の取り組みにも大いに生かすことが出来ました。